

授業概要

社会の情報化や学校における教育 ICT の普及など、児童生徒を取り巻く「情報」に関する状況や、必要な「生きる力」は、近年大きな転換期にある。また、探究学習を中心として、多様な学習指導のあり方が模索・推進されているなかで、学習・教育活動におけるインフラとして、学校図書館は中心的な役割を占めている。

本授業では、上記の状況を踏まえて、学校現場での学習における各種メディアと図書館の効果的な活用、特に情報活用能力育成の指導法や、学校におけるメディア整備と関連の図書館サービスの提供について講義する。そして、現代を「生きる力」を学校が育むため、他の教職員と協働しながら探究的な学習を実現していくための、知識と技法を指導する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション：学校教育と学校図書館
第 2 回	教育課程の編成と学校図書館
第 3 回	情報社会における情報活用能力の育成と学校図書館
第 4 回	情報活用能力育成のための計画・実践・評価①：学習指導の計画・考案を中心に
第 5 回	情報活用能力育成のための計画・実践・評価②：情報・資料の収集と吟味を中心に
第 6 回	情報活用能力育成のための計画・実践・評価③：情報・資料の活用を中心に
第 7 回	情報活用能力育成のための計画・実践・評価④：情報のまとめ方や評価を中心に
第 8 回	学習・教育活動を支援する情報サービス
第 9 回	学習指導と学校図書館メディアの選択・整備
第 10 回	デジタル・シティズンシップと学校図書館
第 11 回	教科学習における学校図書館の活用
第 12 回	総合的な学習の時間等における学校図書館の活用
第 13 回	特別な教育ニーズと学校図書館
第 14 回	学習指導における司書教諭の役割
第 15 回	まとめ：学習指導のハブ的機能を達成するために
第 16 回	期末課題の提出

到達目標

- ・現代社会における情報環境と学校図書館の役割を理解することができる。
- ・探究的な学習における学校図書館の可能性に関心を持ち、その方法を構想することができる。
- ・情報活用能力育成のための指導法やメディア整備・図書館サービス提供に関する具体的な方法を実践できる。

履修上の注意

- ・10 分以上の遅刻は欠席とみなすので注意すること。
- ・Teams を使うため、情報機器（PC 推奨、タブレット端末・スマートフォン等も可）を毎回持参すること。
- ・毎回のリアクションペーパーについて、欠席回および遅れて提出されたものについては原則成績に参入しないので注意すること。ただし、実習等やむを得ない事情がある場合は考慮するので必ず事前に申し出ること。

予習・復習

- ・予習：授業の進捗に応じて適宜指示する。
- ・復習：毎回のリアクションペーパー作成を通じて丁寧に行うこと。詳しくは初回に案内する。

評価方法

- ・授業各回の内容理解：30%（リアクションペーパー（毎回提出）の内容で評価する）
- ・授業内容の理解と取り組み：40%（授業内成果物の内容で評価する）
- ・授業全体の内容理解と考察：30%（期末課題で評価する）

テキスト

- ・野口武悟編『学校図書館基本資料集 改訂版』全国学校図書館協議会、2020 年、ISBN：978-4-7933-0101-8
- ・その他、資料を配布する。